



勝浦ロータリークラブ

50期 THE WEEKLY REPORTS

2012 - 2013年度

No. 1 / Total 2333

例会：2012年7月6日

発行：2012年7月20日

R I 会長 田中 作次

第2790地区ガバナー
得居 仁

第5分区ガバナー補佐
古市 一雄

第5分区幹事
島田 誠一

第2790地区地区委員
ロータリー財団委員会
勝浦RC 関 一憲
新世代奉仕委員会
鴨川RC 羽鳥 鋭一

勝浦ロータリークラブ
会 長 古川 範男
幹 事 中村 満

クラブ会報委員長 小林 悠紀
副委員長 渡邊 ヒロ子
委 員 渡邊 昌俊
関 一憲

◆7月6日(金)のプログラム

- ・ガバナー補佐訪問
- ・会長所信表明

◆7月のプログラム

13日(金) 夜間例会

- ・新旧役員歓送迎会

(ブルーベリーヒル勝浦にて)

20日(金)

- ・2012 - 2013 年度活動計画発表

クラブ奉仕Ⅰ 理事・各委員長

クラブ奉仕Ⅱ 理事・各委員長

27日(金)

- ・2012 - 2013 年度活動計画発表

職業奉仕 理事・委員長

社会奉仕 理事・各委員長

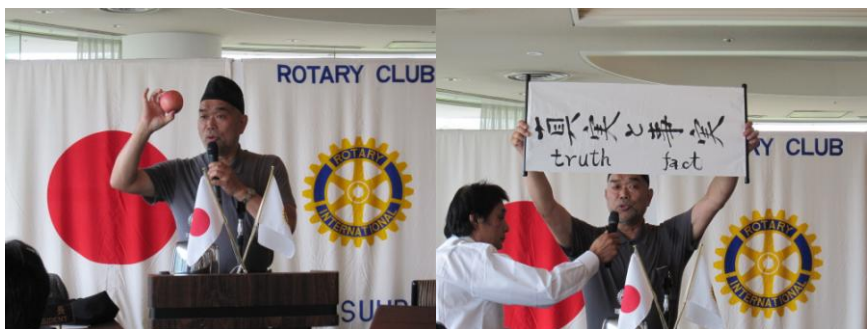
国際奉仕 理事・各委員長

●新旧会長幹事交代式



関正己会長、漆原撰子幹事、一年間本当にお疲れ様でした。

●会長挨拶 古川範男会長



こんにちは、ここに仕掛けを用意しました。リンゴです。これをいろいろな人に語らせるとどうということになるか。ある人は人工ではなかなか作れない良い色だ、またある人はリンゴ畑の花の下に…なんていう詞を口ずさむかもかもしれません。またある人は季節外れのリンゴを持っているな…いろんな表現があると思います。これはすべて事実です。しかしその一つひとつの事実から全体が見えるでしょうか。つまり真実が見えるかという問題です。一回目の今日はロータリーの4つのテストの最初にある『真実かどうか』を取り上げたいと思います。

新聞、テレビでは毎日いろいろなニュースが流れています。一つひとつのニュースは事実です。新聞記者が取材し、事実を報道しています。(たまには事実でないものもあつたりしますが。)しかしその事実を通して我々は全体像、真実を果たしてつかみ抜いているかどうか、ここに問題が起こる訳です。真実と事実は同じ“実”と書きますが随分違います。英語で言うと真実は“truth” 事実は“fact”です。この“truth”は数えられない名詞です。唯一絶対だからです。太陽“the sun”や月“the moon”などと同じです。“a moon”とは言わないんです。ところが“fact”は数えられます。いくつでも事実はあるんです。だから“facts”という複数にもなりえます。これが実によく真実を表しているんです。事実と言うのはたくさんあります。我々はニュースを見たり人の話を聞いたり、様々な事実を耳にする事があると思うのですが真実は、実は表し得ていない部分が多いという事に気づくべきだと

思います。真実と簡単に言いますが、実はなかなか近づくにくいという事をぜひ頭に入れておいて頂きたいと
思います。我々はあくまでも事実しか知らないのだと。
森の中の木を一本一本見ているに過ぎない、そこから一
体この森はどういう森なのか、どういう木があつて規模
はどれくらいなのかというような事を想像し、そして連
想し或いは眼光紙背に徹すという言葉がありますが、新
聞を読んでいてもその裏にある事実を想像し、或いは洞
察力を発揮して真相に迫るといふ事が必要だと思いま
す。今インターネットが非常に発達しております。いろ
んな事実が瞬時に流されます。これはあくまで事実だ
という前提を持って見るべきだと思います。真実はこの全
体を統合しなければならぬ、真実を知る事はなかなか
容易ではないという前提に、いろんな人の話やニュース
や事実関係を見ていかなければならないと思います。

これから一年間このような類の目からウロコが落ち
るような話、そして一年間を通して言いたいことはこれ
だったのかと皆様に納得いただけるような話の展開を
したいと思っております。今日は真実と事実です。
以後また宜しくお願い致します。

●ゲスト挨拶



古市一雄第5分区ガバナー補佐、島田誠一第5分区幹
事、三上栄子鴨川 RC 事務局長より御挨拶を頂きました。
ありがとうございました。

●幹事報告 中村満幹事

1. 国際ロータリー日本事務局より

7月のロータリーレートは1ドル＝80円

2. 本年度よりガバナー月信は会長・幹事のみに配布

3. 地区社会奉仕委員会・新世代奉仕委員会合同セミナー

7月7日千葉市ホテル ザ・マンハッタンにて開催

4. 米山記念奨学会より、卓話依頼は7月10日まで

5. 新世代奉仕委員会より IA 年次大会の案内、地区職 業奉仕からクラブ奉仕セミナーの日程が届きました

6. ロータリー財団より関一憲委員に委嘱状が届きま した

7. ロータリー「希望の風奨学金」への支援に対し
感謝状が届きました
8. 地区大会記念ゴルフのご案内
日時：9月24日高尾の台カントリークラブ
8月10日締切 定員168名
9. 千倉 RC より例会日変更のお知らせ
7月27日 夜間例会 18:30 魚拓荘
10. 館山 RC より例会日変更のお知らせ
7月11日 南房総富浦ロイヤルホテル
11. 次週の例会は夜間例会です
12. 本日例会終了後、第1回理事会を開催
13. 支払い依頼書は幹事の印がなければ受付をしま
せん

●委員会報告

◆50周年委員会 水野敬泰委員長



昨年、地区からの支援金を頂戴致しまして、それを元
にまず子供たちのプロジェクトを考えよう。それから
始まった訳でございますが、福島県立盲学校の子供た
ちを、保護者と共にご招待申し上げようという事で去
る2日、私と幹事の中村満さん、会場の責任者であり
ます漆原摂子さんと3人で行ってまいりました。
向うでは校長先生を始め、PTA 会長、福島 21RC の会
長、社会奉仕委員長、次年度の会長、教師でロータリ
アンの鈴木みえこさんと言う方がおりまして、大変に
歓迎をしてくださいます。今まで盲学校に対して支
援の手や声がきていないんだと申されておりました。
それにつきましては、最後の週報に出ておりますので
それを見て頂ければ経過が分かるのではと思ってお
ります。そこの所を十分ご理解いただきまして、皆様方
の御支援と御協力をお願い致します。例会後の理事会
でプロジェクトチームを立ち上げたいと思います。
宜しくお願い致します。

●ニコニコ BOX

○本人誕生日

◆斉藤豊久 君



今年もまたバースデーという事で、歳を一つとりました。ただ年金をもらう65歳には、まだちょっと早いという事で、来年になるとその歳になってしまいます。ありがとうございます。

○親睦委員長より

本日、ガバナー補佐の古市様、分区幹事の島田様より金一封を頂戴いたしております。ありがとうございます。

○自主申告

◆釜田英之 君



古市さん、一年間楽しんでください。

終わってみれば簡単な話ですけども、始める時はなかなか一歩踏み出すまでが大変だと思います。

踏み出した後は楽な気持ちで一年間過ごせますので、大いに楽しんでください。

◆西川佳璋 君



こんにちは、今日皆さんのお手元に地区大会の記念誌が配られていると思います。この中の57ページから、地区大会で講演をされたお茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦さんの原稿が載っております。

昨年私、御会式が終わってすぐの時に、15分の話でこんな話を纏めろという事で、ここへ立って日本人頑張れという先生の講演だったと言う様にお話しをさせていただきました。日本人頑張れという言葉は載っておりませんが、読んでいただければ日本人が今まで頑張ってきた姿を述べられておる事がお分かりいただけると思います。どうぞ一読下さる事をお願い致します。ありがとうございました。

◆池田哲夫 君



昨年は親睦委員長をやっていたので、なかなかお金を払う暇がなかったので、今年は少し御協力します。という事で頑張ってください。

●新会長方針発表

◆古川範男君



勝浦ロータリークラブの在り方について、仏教の言葉で分かりやすくお話をさせていただきました。

「壮大な実験場＝日本」の中のRC

1、RCの遺伝子

- ①あらゆる生命・組織には遺伝子がある
- ②「軟らかい遺伝子」～日高敏隆
- ③P.ハリス 1905年2月23日にシカゴでRC設立
 - ・世界は常に変化している（無常）
 - ・RCは世界とともに変化し成長していかななくてはならない（動的平衡）
 - ・RCの物語は幾度も書き換えられなければ

ならない（空）^{くう} ～遺伝子のコアを守りつつ

・仏教にも通じる「自未得度先度他」（利他）

2、自分の「立ち位置」の確認

①時間的

- ・150億年の宇宙の歴史、46億年の地球の歴史、360万年の人類の歴史
- ・「個体発生は系統発生を繰り返す」
- ・日本は「壮大な実験場」～日本的靈性、武士道、独特の仏教、「美しさ」、「曖昧さ」、要するに美意識と慈悲

②空間的

- ・過去と現在が混在する宇宙の中の地球→日本→千葉県→勝浦市

③時間軸と空間軸が交差する一点にいるのは私（貴男・貴女）1人

④「随所に主役たれ」、「今日只今・現在の自分に生きる」

3、「Japan Watching」の時代

①1980年代は「Japan Bashing」の時代 ～世界を席卷した日本製品、サミット、円高

②1990年代は「Japan Passing」の時代 ～失われた20年の始まり

③2000年代は「Japan Nothing」の時代 ～政治・経済の停滞、混迷

④そして2010年代＝「Japan Watching」の時代

4、「仏に魂を入れる」

①「形はできている」

②「全身・全霊でRCの遺伝子」を体現する

出席報告 7月6日（金）

出席委員会 前田安彦委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
35名	27名	3名	5名	86%

2012年7月13日（金） 夜間例会 新旧役員歓送迎会



会長挨拶

旧役員代表挨拶



旧幹事挨拶

新幹事挨拶



ブルーベリーヒル勝浦のスタッフの皆さん



懇親会の様子



旧役員の皆さん、本当にお疲れ様でした。